（明治四十一年十一月二日第三種郵便物認可）（月曜及祭日の翌日休刊）明治四十二年六月三日（木曜日）第百廿五號（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

朝鮮の孔氏

去る明治四十年の舊四月の二十八日其第一回の祭典を東京本郷區湯島の聖堂に擧行せし孔子祭典會は本年五月廿五日第三回の祭典を擧行せり

是時に當り東國輿地志を一讀して朝鮮に於ける孔夫子の遠孫たる孔氏の來歷を知るを得たれば其大略を左に述べん

孔夫子第五十三世の孫を孔浣といふ、字は日新、明の太祖の時衍聖公を贈らる、二子あり、次子を孔昭といふ、元の順帝の時高麗朝第三十一世の恭愍王に降嫁せる元の宗室魏王の女寶塔失里（即ち魯國大長公主）の高麗に來りし時孔昭は陪老の一人として之に陪從して半島に東來せり、時に元の順帝の至正十一年（我南北朝時代、西暦一三五一年）十二月なり

孔昭出發に臨み其昔孔夫子が「乘レ桴浮二于海一」（論語公冶長第五）といひ又「欲レ居二九夷一」（論語子罕第九、九夷は東方の夷なり）との意ありしに感じ且つ半島は箕子以來支那文化の波及せし處なるを以て、陪從東行に因つて半島に永住せんと欲し乃ち其妻皇甫氏を同伴せり

恭愍王乃ち孔昭を門下侍郎平章事に拜命し昌原伯（或は檜原伯に作る、昌原は慶尙道の南部にあり）に封ず、かくて孔昭は遂に高麗朝に仕ふるに及んで其名諱の朝鮮四世の光宗の諱と同じきを以て紹と改名す、朝鮮半島に孔氏あるは此より始まるといふ、孔紹はいふまでもなく孔夫子第五十四世孫なり

其妻皇甫氏子なくして卒す、乃ち左贊成曹晉慶の女を娶り其子女帑を生む孔帑麗末の亂に戰亡す、其二子を孔俯といひ孔穩といふ、此二子以來李氏朝鮮に仕へ其子孫連綿たりといふ

朝鮮の孔氏中、中宗時代の孔瑞麟（西暦一四八三—一五四一）尤も顯はれ、朝鮮人之を以て前漢の孔安國、唐の孔穎達、及び唐の孔道輔等に比して其學問人物を稱す、正祖十六年（西暦一七九二年）文獻公の謚を贈らる

今の京畿道水原府（前名華城府、古號隋城）の文公山下は文獻公の生れたる處にして同府の南四十里（朝鮮里）の中蓮面の九井里は即ち公の講學の處なり、正祖十七年、其處に就いて祠を建て以て孔夫子を祀り、額を賜ひて聖廟といひ其地を命して闕里といふ時に春秋獲麟後二千三百年なり

闕里はもと魯の曲阜（今の山東省兗洲府曲阜縣）の地にして孔夫子の居處なり、今半島孔氏中尤も顯著なる文獻公の遺址に因りて聖人祠を表して以て闕里と名く又不可なしといふべし又昌原の西斗尺山の南に昌原伯の墓あり亦孔氏の舊蹟なり（中村文學士）

文苑

●鹿の子君足下　椋助

鹿の子君足下、頃日余が新町見物を登載して花柳子に反駁を試られたるも之れに對し遂に一矢を酬ひずとて足下は大に慨歎しながら、而かも余に同情を寄せられたるは余の深く感謝する處なり、されど余が花柳子に一矢を酬ひざるは不遠余の理想の實現せらるべきを確信せしを以てなり、見よ井門支店は既に余の忠言を容れたるに非ずや足下余は花柳界の改良に努めんとするもの曩には砲一發を新町遊廓に放ち今又一發を中檢番妓衆に放てり而して余の射的や多く急所を外れず續々命中して其効果を納めつゝあり、足下幸に意を勞する勿れ

新刊紹介

●東京經濟雜誌　例議論其材料豐富なり、本號も亦例の「世界商人に關する調査」「放置政治の[illegible]」「[illegible]」「國家勞務經濟に及ぼせる損害」「日英[illegible]」等なり（一四九二號一部十二錢東京々橋區彌左衞門町東京經濟雜誌社）

●實業の日本　實業經濟雜誌青年に取つての刺激文字たらざるはなし一例を擧ぐれば「余は丰人の立場より大膽に告白す」等は推して知るべし新渡戶博士の現代社會觀も本號より現はれたり（十二號一部十一錢東京々橋區南紺屋町實業の日本社）

●幼年の友　繪畫に依りて先小兒の實感を起さしめ次で記事に依りて事物を會得せしむ編輯者の苦心容易ならざるべし（五號一部十錢東京々橋區南紺屋町實業の日本社）

●韓國中央農會報　「韓國昨年の外國貿易概況」「江原道蠶業概況」「元山冬季の氣候」等は本號の主要記事なり（四卷一號二十錢京城大和町二丁目韓國中央農會）

●韓國經濟月報　三月中に於ける韓國經濟界の状況を詳述したるもの一款より八款に亘り綿密なる統計表を挿めり（三號度支部編纂）

●婦人世界　寫眞版の優麗なる先づ見るものをして恍惚たらしむ内容は紫紅繽紛目を驚かすに遑あらず例に依り婦女子に取つての好雜誌なり（七號一部十五錢東京々橋區南紺屋町實業の日本社）

佐倉宗吾

（九十六）　眞龍齋貞水講演

役「斯りや名主、當村の是が醫者か　新「左樣でございます　役「斯りや其方、手當が出來るか　播「ハア出來ます、持つてくらつしやい、些と泌みるかも知れねゑが……如何だね、御宅に燒酎があつたら、燒酎を金盥に入れて沸して貰いてゑ……宜うございます、如何にかなりますか」如何にか成るだらうけれども大變な話し、イヤ何うも此樣な時は日頃百姓を窘めるから、酷い目に逢してやらうと、馬に使う太い針を出して縫ひ始める　役「ア、痛てゑ　播「此位の事は我慢せにや成らねゑ　役「ア痛た、たッ　播「どうせ生きてるのに針を突通ふすだから、些たア痛かんべゑ、其代り早く癒るから、少しア我慢する事だ、御役人樣なんて、强いかと思つたら、意氣地のねゑもんだ、是くれゑの事が痛くつちや仕樣がねゑ」百姓は縛れる役人を押付けて、ズブ〱縫ふから、役人は夜が明ける迄、よい加減に馬醫者に身体を痛められて、是から療治代拂らであると云ふと　新「當村もなか〱困難をして居りますから、御療治代は直ぐに頂き度ございます、粥も拵きましたし、家中で此蠟燭が百挺も要りました　役「何だとオー、うんなに使ひやしない　新「そりや貴下方臉くらんで居るから分るもんでございましねゑ　役「そんなむやみ[illegible]「イヤ之を御構ひ下さらなけりや佐倉御城中へ御屆をしますから」イヤ何うも目明幸兵衞はじめ一同ひどい目に逢つたが仕方がない、斯うして手間どつて居る日には、何處へも知らせる事が出來ないから、役人は道々の体でうれ〱人を借りて引取る事に成りました、是は滑川村の新五郎と云ふ名主が惻口のために堀田領分の廻村の役人は慘々に怪我を致しました其上に馬醫者の播兵衞のため、莫大なる禮を取られるとは、皆な白頭惜んで居りますに依て、無代でも宜い事も、役人から金をふんだくる事に成つた、理を以て責められる時は、如何なる役人でも、斯りや出さぬ譯に參りませぬ、百姓の方でも、其樣な事で暇を取つて居ります間に、宗吾郎は無事に江戸へ歸へれるだらうと云ふ計ひもあつたのでございます、今日斯樣な事を申しますと、講談師風情が、生意氣な事を申すやうでございますけれども此宗吾郎が多くの百姓の難儀を助けるがため、身命を擲ち、義民の巨魁と今日まで稱へられ、又宗吾自身は、神にまで崇められて居りますのは、所謂人と云ふものは、靈魂不滅であらうと、私は考へるのでございます、人の一心と云ふものは、必ず通ずるものに違ひない、其故、高治年間から明治四十二年の今日まで、此宗吾靈神へ心願を掛けますれば、農家の者や何かに、能く利益を授けると言ひ傳へて居りますが、決して迷信ではないので、何うも斯う云ふ事が幾らも世の中にあるやうに思ひます、今日追々世の中が開けて參りまして、農村の者は都會に出まして、勢ひ華美に流れるやうに考へますが、一体我日本國では、第一尊いのは農で、農くらい又、安泰に其日を送る者はない、と云ふのは、自分で作り、自分で食ひ、自分で織り、自分で着ると云ふのであるからでございます、然るに其農家の者が、都會へ出て、金を使つて仕舞ひ、或は西洋〱と云つて、西洋の眞似ばかりするが、決して何もかも西洋が宜いと云ふ譯でない、今日洋服を着て、散髮になり、時計を下げるのは、時勢の然らしむる所でそれは仕方がない、之を行らなければ交際が出來ない、又異國に大使公使を派遣して御政治を御執り遊ばす事が出來ないが、何も精神までも外國に倣ふには及びませぬ

廣告

右は今般左記の所に於て來る六月一日より開設す希望の方は至急申込あれ

京城本町一丁目十八番戶
[illegible]研究會
會主　有馬[illegible]

手撰石炭　播州特別白米
米利堅粉　菓子粉　洗粉
櫻麥　大豆類　其他雜穀
宅合名會社醬酒特約
茂木醬油　白印醬油特約
大日本麥酒會社製品特約
洋酒　洋菓　和洋罐詰類
宇治銘茶　紅茶　コーヒー類
味噌　漬物　砂糖　乾物　海產物
與綿　小袖綿　延綿　蒲團綿類
雨傘　麻裏　足袋　石鹼　諸雜貨

京城明治町一丁目
牧野豐田商店
附屬　牧野精米所
工場　牧野電力製粉所
（電話二五三番）

醫術開業廣告

左の處に移轉し公務の餘暇を以て診療に從事す（但し正午迄）

醫學士　佐々木四方志
明治町一丁目二十二番戶（元本町[illegible]）
電話八百十二番

豫約募集

本書には統監府軍司令部師團司令部各理事廳鐵道管理局通信管理局各民團各商業會議所及び韓國政府中央地方諸官衙各國領事館職員錄を併載致候

京城理事廳認可

朝鮮紳士錄

定價一部　金五圓　總クロース金文字入
豫約特價前金壹部　金參圓
申込締切期日　六月十五日
送本期日　七月十五日

登載事項　政治家、軍人、官公吏、農業家、工業家、商業家、理財家、實業家、宗教家、美術家、醫師、辯護士、教育家、新聞記者、銀行、會社、事業、教會、寺院、協會、倶樂部組合

發行所　京城西小門通　京城新報社

豫約申込所
本町二丁目　日韓書房
本町二丁目　文林堂
新王城前　盛[illegible]堂
北署安洞　大東書林
中署廣橋東邊　滙東書館
中署罷朝橋越邊　中央書館
南大門通　義生盛號

本紳士錄（交詢社式）には韓國各地在住の日韓淸英米佛獨其他紳士の全体を網羅致候へば公私實務者の坐右に欠くべからざる要書に有之候

シガー・シガレット・ブドウ酒・ブランデー・シャンピン・ウヰスキー・洋菓子・キリンビール・菓物・タンサン水・カン詰類

卸小賣　食料品　酒類　雜貨　米　煙草　美術品

直輸入商
京城本町二丁目　同三丁目
辻屋
本店　電話二四八番
支店　電話三六六番

美術半衿帯上 其他 組紐類各種
京城旭町一丁目 金るり縮商店

寄書

韓國中央銀行論

ケー、シー生

其一、緒言

韓國中央銀行の創設は重要の經濟問題たると同時に又重要の政治問題なり、之を政治問題として考れば韓國本位懷柔政策の副産物にして利權回收の實現に外ならず、之を經濟問題として解すれば財政經濟の中樞機關を取り替ふるものにして政府財政は固より民間經濟にも多大の影響を與ふべきや論を俟たず、經世家實業家にとりては其利害得失に關し深く論究考覈に價する緊要なる事件なるべし

然れども統監府及韓政府當局は既に韓國中央銀行創設の議を決定し今や其議定の實行に向つて歩武を進めつゝありと聞けり、此時に際し創設の可否に就て論議を費すは余輩の本意とせざる所なり、故に創設可否の問題に關しては寧ろ「時機尚早」の一語を以て余輩の意見を表白するに止め寧ろ今日に於ては當局議定の如く韓國中央銀行を設立するものと假定し而後研究を要する事項を探査して之に對する私見を吐露すると同時に大方諸賢の高見をも叩き以て當局及び江湖の參考に資するが却て機宜に適し且つ効果の大なるべきを信ず、而して余輩は研究事項として左の諸點を擧げんと欲す

其二、研究を要する事項

韓國中央銀行を創設するものとして豫め研究すべき要項は

一、韓國中央銀行に紙幣發行權を與ふべきや否
二、第一銀行既得の紙幣發行權を取上ぐべきや否
三、第一銀行既得の紙幣發行權は政府任意に取上げ得べきものなるや否
四、第一銀行の紙幣發行權を取上ぐる場合に於ける報償條件如何
(一)取上の猶豫期間
(二)第一銀行發行の紙幣處分方法
(三)第一銀行政府貸上金の整理方法
(四)第一銀行の紙幣發行に伴ひ必要上放資せる貸出金の整理方法
(五)第一銀行が紙幣發行に伴ひ必要上約束せる契約の整理方法
(六)第一銀行が紙幣發行に伴ひ實行若くは計畫せる設備の整理方法
五、韓國中央銀行の規摸及組織
六、韓國中央銀行は普通銀行業を兼營すべきや否
七、韓國中央銀行の營業は官本位民本位何れに重きを置くべきや
八、正貨準備保證準備限外發行に關する規定
九、發行税に關する規定
十、韓國中央銀行と韓國に於る日本政府國庫事務の關係
十一、韓國中央銀行と現存の普通銀行との關係
十二、韓國中央銀行と在外代理店との關係

如上の各項に就き順を追ふて余輩の意見を述べん

東京電報

▲日糖と新事實　日糖事件に關し新事實發見せられ更に貴族院側及各政黨に飛火せん模樣あり

▲前社長訊問　大日本水産會社前社長海軍中將靈屋方國氏は同社の費消事件に就て本日自宅に於て檢事の訊問を受けたり

▲判檢事試驗と體格　判檢事辯護士試驗は今后身体檢査を要することゝなれり　(以上二日午後發)

外報一束

●危機尚去らず　アルバニヤ人等は土國政府に對して武裝の解除を拒み武器の携帶を廢するよりは寧ろ死するの優れるに若かずと語り事態は根本的に混沌不安を極め其危機は最近の事變よりも更に不良を示しつゝありと

●獨帝兩宮招待　久邇宮、同妃並に梨本宮同妃は獨帝の招待に依りポツダム守備軍觀兵式に參列せられたり獨帝は梨本宮に黑鷲勳章を山梨氏に王冠勳章を授けられたる由

●諸パシヤ流謫　今 追放を命ぜられたる土耳其の諸パシヤ等は將來の危機を防止するの方法として何れも三年間の流刑に處せられたるものにしてミチレチ島たよひローデス島(小亞細亞沿岸)に向け君士坦丁堡より乘船出發したりと

●ル氏遊獵批難　曾てルーズヴエルト氏に批難せられたる知名の動物學者ロング氏はルーズヴエルト氏を以て自己の娛樂の爲めに徒に獸類を殺戮する野蠻人なりと批難せる由

雜報

●道書記官會議　昨紙所報の如く道書記官會議は昨二日午前十時より内部製圖室に於て開會されたるが出席者は菱田漢城府事務官外十三道書記官にして朴内部大臣(新庄書記官代讀)同次官の訓示演説あり午後よりは澤田地方局長等の諮問事項、協議事項及各道書記官の意見に就きて協議會を開きたりと

●未墾地と漁業　農商工部水産局にては漁業者の爲めに沿岸の未墾地を利用し漁業と相待つて農事の經營をなさしめんとする計畫にて其方法等に就き目下調査をなすと云ふ

●海軍次官の馬山着　加藤海軍次官は一日馬山に着したる旨統監府へ公報ありたりと

●俵次官の東京着　俵學部次官は京城出發後郷里石見に立寄り昨二日朝着京せる由

●松井局長明日歸任　松井警務局長は既報の如く愈々明四日歸任すべしと

●派遣隊全部上陸　臨時派遣隊第二聯隊第二大隊は二日木浦に第一聯隊第二大隊は三日群山に上陸し夫れ〳〵守備地に向へり

●派遣隊司令部大邱着　臨時派遣隊司令部は三十一日釜山上陸以來同地に居りしが二日出發大邱に着せる由

●司法官典獄會議終了　司法部に於て開會中なりし司法官及典獄會議は豫定の如く昨二日を以て終了したるが各司法官及典獄は今三日を以て夫れ〳〵歸任すべしといふ

●魚市場業規則立案　豫て報導したる魚市場業規則は目下水産局にて審議中なるが今回入京の各道書記官に諮りて實地施行に關する意見を糺し以て其の立案を了る筈なりと云ふ

●養蠶研究と韓國人　韓國人にして養蠶狀況研究の爲め韓人は昨日本高山社に入學したる者四名及昨年秋蠶業視察の爲め渡日したるもの三名も目下同社にて勉學中なりと

●株券交付の開始　東拓會社は東京出張所よりの發送荷物延着の爲め株券の交付を延期し居たるが昨日を以て株主印鑑簿其他必要書類到着したるを以て今三日より交付を開始する由

●軍用地の結税免除　日本海軍防備隊の收用地たる咸鏡南道永興郡鎭坪面所在田結五結八十五負四束は其結税を免除する事となり内閣會議を經て裁可を得たりと

●道路橋梁の修理　韓政府は漢城府内の道路及橋梁の修理を企て多數の人夫を使役して改修を急ぎ居れるが本年度の修理費は一萬九千三百五十八圓の豫算にて右は豫備金中より支出する事に決したりと

●各警察署の建築　本年度に於て建築すべき警察署は新築三十三修繕二十三合計五十六個所にして此内三十餘個所は既に工事に着手中なるが殘部は不日入札に附すべき筈にて十一月中には全部竣成の筈なりといふ

●婦人會の花輪獻上　愛國婦人會本部役員會員は韓皇后水原行啓に際し出發還御とも南大門驛プラットホームに整列奉送迎をなしたるが還御の際停車場假便殿に御休息中香阪救護部委員長三浦本部副長、木島當番幹事は會員總代として本部の調製になれる花輪を獻上したりと

●巨智部博士の消息　元農商工部技監巨智部忠承氏が病氣のため其の職を辭し歸朝したることとは世人の知る所なるが今後病氣平癒し健康体に復せし曉は飽迄韓國の鑛業に就き研究の勞を積み毫も從來の熱心さ渝らざるべく又或は渡韓の機も有之べしとの事なり

京城漫畫（其八）　明治町二丁目 孤月生

老人最後の努力……

●葉錢引上の概況　四月中の葉錢引上高は三十三萬百三十二圓にして前月より減少せること八萬八千餘圓なり而して斯くの如く近來に至り引上の巨額に上るは全く銅價の下落につれ輸出の見込立たざると貨幣としての不便を人民一般に確知したる結果なりといふ

●民團議會の委員會　去る廿九日開會したる民團議會に於て委員に附托せし件は日韓瓦斯會社道路使用に關する件、軍用地消防組設置の件、同地民團吏員駐在の件及南山町の池水地貸下に關する件なるが昨二日午後二時より民團役所樓上に各委員列席して委員會を開きたりと

●仁川民團長の任命　奉天郵便局長岩崎直英氏は六月一日仁川居留民團民長に任命せられたり

●新任警務課長着任　宿谷警視の後任として警務課長に轉したる富山縣警察部長中野有光氏は松井局長と同行明日着任すべしと

●巡幸紀念章頒賜　韓皇南西兩巡幸紀念章を調製して一般關係官公吏に授與すべき旨は既報の如くなるが愈々一日付を以て同紀念章制定の件を公布されたるが紀念章は直徑一寸一分圓形の銀製にして表面に天皇旗を刻み綬は織地中一寸二分にて中央軟紅色兩端は白色にして巡幸に關する皇族以下判任官以上及公吏又は重要奉迎員に頒賜し尚日本人に關しても前記同樣なりと

●任度相の訓令　任度相は昨二日各道觀察使又漢城府尹に對し左の訓令を發したり
各地土地測量に關し種々の弊害あるを以て近來土地測量の盛なるに乘し狡猾の輩地方を巡遊し虛說を搆へ各自所有地を測量し境界を的確ならしめざれは祖先傳來の良田美田も竟に亡失するに至るべしと宣言し以て各地主に量地を强制し不當の料金を收むる者續出す其弊害啻に民力を沮喪するのみならず將來土地整理上に妨害勘からず今や政府は全國土地を無料測量し面積を査定し地圖を作成し各所有者の便益を圖らんとす依つて地主は自已の必要に非らずして量地を他に依賴し彼奸輩の詐術に陷る勿らん事を下一般人民に懇切訓示し以て遺算なからしめよ

●輸出牛の檢疫法　韓政府に於て輸出牛檢疫流制定發布の議ある事は既記せし所なるが今其成行を聞くに現今韓牛輸出業に從事する者は悉く日本人にして假令韓國政府に於て檢疫法を發布するも治外法權を有する日本人に通用する能はず依つて日韓兩國政府に於て協約を結び統監府に於て韓國と同一の檢疫法を發布し其實施は便宜上農商工部所管の檢疫所に委任する事となるべしと

●湖南鐵道の買收　宮内府顧問官李允用及前法相李夏榮其他韓人數名は去る三十五年鳥致院木浦間の鐵道敷設權を當時の宮内府鐵道院より許可され爾來湖南鐵道株式會社なるものを設立し三十八年後全線三十八哩の中僅に二哩餘の敷設工事を爲したるが韓國政府は韓國鐵道の統一上該權利を取消す事に決し其賠償金として金十二萬九千四百三十五圓を交附する事に確定したり

●漢城俱樂園の設置　李載覺、李載完、李載學の各皇族李首相、李學相、閔宮相、尹侍從院卿、趙承寧府總管、金中樞院議長等は『詩歌を唱酬し智識を交換し幽情を暢叙す』と云ふ趣旨にて漢城俱樂園を新設する事に決し二日午後四時より桂洞翠雲亭に會し協議會を開ける由因に俱樂園設立の曉には例の官人俱樂部を解散すべしと

●貨幣發行高週報　五月二十三日より同二十九日迄に於ける一銀支店の貨幣發行高左の如し

第一銀行券總發行平均高	九、八三八、七〇〇
內 正貨準備發行額	三、二九七、一〇〇
保證準備發行額	六、五四一、六〇〇
銀行券平均手許有高	七〇六、七八六
銀行券市場平均流通高	九、一三一、九一四
硬貨發行額(五月二十九日現在)	四、二七〇、〇四〇
內 金貨貳十圓	一、三五〇、〇〇〇
同 十圓	五〇〇、〇〇〇
銀貨五十錢	六七六、〇〇〇
同 廿錢	七三一、〇〇〇
同 十錢	四一八、〇〇〇
白銅貨五錢	一九四、二五〇
青銅貨一錢	一三八、一三〇
同 五厘	六二、六六〇
金貨五圓	五〇、〇〇〇

●第二回巡査募集　第二回警察官募集の爲め來る十日頃内部警務局の寺島警部は靜岡、宮城兩縣へ警察官練習所の安田警部は石川、岡山兩縣へ出張する筈にて其日割は靜岡、岡山兩縣は十七日宮城、石川兩縣は二十五日募集員數は百名なりと尚巡査任職者は採用せらるべしと

●東拓對土地方針　豫て報導せる如く東拓會社が韓國政府より受取るべき土地は目下實地の引繼中なるが同社が其の土地に對し如何なる經營方針をなすべきやといふを聞くに農事は凡て韓國式を基礎とし之れに改良を施すことをせざるべからず或る論者は全然日本式を取つて直に之れを韓國に應用すべしと云ふ者あれども兎に角數千年の歷史を有する國柄なれば米國又は埃太利の如き國とは同一視すること能はず殊に急迫の改良は最も愼重の態度を要する譯なるが唯種子の改良は最先に着手する考へなり是迄の例に徵するも農事の方法は全然韓國式を以て日本の種子を使用したるに三四割の增收あるは確的の事實なりとす併し之れを選擇するに當つて南韓と北韓とに依り種子の種類に注意を要すと

●漢城病院長招聘　漢城病院を引受けたる安藤一郎氏は同病院長として刀圭界に有名なる醫學博士栗本東明氏を招聘する筈にて目下條件に就き交涉中の由なるが多分纏まるべしと

●臨濟錄提唱時日變更　微笑會の圓山大嶺師は每土曜日午後三時より從來大和町三丁目兜根山上牧雲庵に於て臨濟錄を提唱し來りしが本月より夏期中を限り每金曜日午後八時に改めたる由

●巨智部博士叙勳　韓皇室は前農商工部技監巨智部忠承氏在職中の功勞に對し特に勳二等太極章を下賜さるべしと

●內部大臣秘書官任命　六品徐丙業氏は內部大臣秘書官に任命され奏任官三等に叙せられたり

●明石少將の歸任　明石軍參謀長兼憲兵隊長は一日夜歸任されたり

●永井醫學士出發　前漢城病院長醫學士永井堤藏氏は家族と共に昨二日午前南大門發にて歸朝せり

●新幕昨今の商況　新幕の市況は粟は引續き元山釜山に輸出され其相場は稍下潮の傾なるも時々の手合に於て引合ふものゝ如く大豆は爺滿要地の好況なるに連れ安より三十錢高を示し小豆も小口望手多く好況にして出廻りは少く小麥は品薄の爲め小口買のみ行はる而して相場は粟五圓八十錢、大豆三圓八十錢、小豆四圓廿錢小麥六圓五十錢なりと

●鐵橋開通式と割引　鐵道管理局平壤出張所にては大同江の鐵橋竣成したるより來る五日大同江畔に於て其の竣成を祝するため盛大なる園遊會を開く由なるが當日は滊車賃を三割方割引するよし而して其の區間は新幕、新安州間各驛並に兼二浦より平壤驛に至る間の往復なりと

●仁川警察署の增築　仁川警察署にては愈々近日中增築工事に着手する由にて本日より右工事中理事廳内右手の一廊に引き移り事務を執る筈

●商品陳列所入場員　農商工部所管の商品陳列所に入場したる總人員は一月より五月廿一日迄の合計九萬三千八百九十七人にして五月中の入場者二万三千二百三十八人一日平均八百九十三人なりと

●木浦管内の生徒數　四月末の調査に係る木浦理事廳管内各地日本人會立小學校生徒の現在數は如左
光州小學校(敎師二、生徒五十八名)榮山浦同(敎師一、生徒廿八名)濟州島同(敎師一、生徒十三名)羅州同(敎師一、生徒廿八名)

●統計資料要綱印刷　度支部官房統計課にては一般統計實務上の事項を蒐集編纂すべき筈にて不日印刷に附する筈なりと云ふ

公人私人

▲郷津友彌(咸興地方裁判所長)一日釜山を經て歸咸
▲石原圍之助(漢湖農銀支配人)同日忠州へ
▲長野篤敬(龍山第十三聯隊附步兵大尉)一日入京天眞樓へ
▲西平(海州地方裁判所長)二日歸任
▲青木幹道(同檢事長)同上
▲山内虎一郞(公州監獄典獄)同上
▲永井前漢城病院長　昨朝東へ

近事片々

▲新統監親任式の永引くのは何か其間に蟠りあると世は揣摩臆測す併し至當の臆測
▲一說には曾禰子の統監陞任は適材を撰拔する迄の間に合せ也と云ふ或は然らん乎
▲伊公 尙統監服を脫せず靈南坂の官邸に安坐す爲に辭任の意なきかと京童評かる
▲何れ 起しても更迭發表の延引するは其間に種々の情實纏綿せる也借も憂き事也
▲伊公の辭任に就て成功を顧するもの少く批難する者多く爲に乃公快々樂ずと云ふ
▲煩悶を慰し虛榮心を滿足せしむる爲に最高榮譽の名稱を授けんと桂侯等苦心すと
▲此上 位階を陞せば生ながら稻荷大明神の外なし餘り功名を望む人間にも困り果る
▲小村 外相の病氣未だ回復せず轉地療養せんと故陸奥伯も曾ては布哇に轉療せり
▲壽太郞伯身体怯弱加之固疾多しと聞けば何となく心細き感起る偏に復回を祈る也
▲如斯なれば大切なる外交事務を見る能はず外交多事の今日此事あるは頗る遺憾也
▲後藤 遞相外相の椅子に轉じ山縣伊三郎遞相たらむの說も起る强ち虛說と斷じ難し
▲蠻爵 は今尙未製品也若し外相たらば如何んて是れ後藤の適所たるやも知る可らず
▲山縣 伊三郎君の遞相はチト面黑からずと雖も次官に仲大路あれば大なる失敗あらじ
▲統監 府總務長官に安伴が引出さるゝと噂もあるが彼の鋭き小刀細工は少々恐縮する
▲寧ろ 奧田義人の微溫的手腕が却てよからむと說く者あり然り奧田は安伴より大也
▲石塚 君元の法制局に舞戻りとの説もあるが腕を揮はぬ中に舞戻は君の爲に惜む也
▲國際 新聞協會に於けるチロル氏の演說は頗る謹嚴にして振ふ流石はタイムス記者
▲曰く 新聞紙は重大の使命を有す營利はのみ手段職分は國民の敎育者也と眞に然り
▲少年 敎育は學校に於て大人の敎育は新聞紙に依らざる可らず記者は此自覺を要す
▲米國 前副統領フ氏曰く新聞の勢力は偉大也新聞は如何なる政治家も手にれへぬと
▲亦曰 く大國に非ざれば大新聞なし大新聞なき所には大政治家なしと然り言得て妙
▲隈伯 曰く淸國は大なる未來を有す埃及パビロン希臘羅馬亡るも獨淸國は依然たり
▲露國 外相イ氏辭任ゴレミキン外相たりとの說有事實ならば爾後外交に變調あらむ

●新幕昨今の商況　新幕昨今の市況は粟は引續き元山釜山に輸出され其相場は稍下落傾向なるも時々の手合に於て引合ふものゝ如く大豆は各需要地の好況なるに連れ安く三十錢高を示し小豆も小口望手多く好況にして出廻りは少く小麥は品薄の爲め小口買賣のみ行はるゝ而して相場は粟五圓八十錢、大豆三圓八十錢、小豆四圓廿錢小麥六圓五十錢なりき

●鐵橋開通式と割引　鐵道管理局平壤出張所にては大同江の鐵橋竣成したるより來る五日大同江畔に於て其の竣成を祝するため盛大なる園遊會を開く由なるが當日は滿車賃を三割方割引するよし而して其の區間は新幕、新安州間各驛並に兼二浦より平壤驛に至る間の往復なりと

●仁川警察署の増築　仁川警察署にては愈々近日中増築工事に着手する由にて本日より右工事中理事廳内右手の一廓に引き移り事務を執る筈

●商品陳列所入場員　農商工部所管の商品陳列所に入場したる總人員は一月より五月卅一日迄の合計九萬三千八百九十七人にして五月中の入場者二万三千二百三十八人一日平均八百九十三人なりと

●木浦管内の生徒數　四月末の調査に係る木浦理事廳管內各地日本人會立小學校生徒の現在數は如左

光州小學校(敎師二、生徒五十八名)榮山浦同(敎師一、生徒廿八名)濟州島同(敎師一、生徒十三名)羅州同(敎師一、生徒廿八名)

●本社前隣の出火

▲火元は清國商人　▲原因は竈の焚火　▲吾社類燒を免る

一昨夜本社前(西小門通)清國商人長發隆號より出火し同家二階以上を全燒し、本社並に附近兩三軒は多大の損害を蒙りたるも消防の盡力に依り幸に類燒の厄を免れたる今當時の狀況を左に報道せん

▲出火の模樣　場所は本社前隣にして即ち太平町より西小門通に返りて一二軒目なるが、さしもに雜沓せる太平町も漸く人足薄らぎたる午後九時三十分頃、火の手は清商長發隆號二階の裏手より焔々として燃へ上りたり、まだ宵の中の事とて附近の人々は逸早く駈け付けたるも何分煉瓦造りの高樓の事とて手の着け樣なく只清國人等は寄つて集かつて家財を戶外に投出し其危險云ふばかり無りしが發火後約二十分を經て德壽宮、清國居留地日本民團役所の各消防組鈴木西部署長、桐原南部署長以下署員及び憲兵其外西大門、長谷川町駐屯の軍隊等も駈付け玆に消防に着手したり

▲消防の活動　德壽宮消防及び支那居留地消防は表通りより日本消防組は裏手より同家を包圍し消火栓を利用して鋭きホースを打揃へて浴せ掛けたれば如何に猛火も之れには適し難く見る／＼内に火の手を減じ午後十一時卅分全く鎭火したるが各消防の働振りは頗る沈着にして煉瓦造りの窓口より要所を外さず盛んに水力を浴せたれば意外に早く鎭火するに至れり

▲出火の原因　に就ては火元にても知らずと稱して答へざる樣子なるが同號の主人は劉道生とて數名の職工を置きて指物を業とし硝子其他建具類をも販賣し殊に當日は多數の材木を仕入れ二階に積重ね居れり、出火當時家人は何れも店の間に居たるが炊事係の男が竈に火を焚付けたる儘是又店の方に來り居りしに其竈の飛火が附近にありし小山の如く積みありし鉋屑に燃へ移り其れより裏口天井を拔破りて二階の木場に延燒したるものゝ如し同家は昨年火災を起し新築后僅かに二年を出でず損害は約三千圓の見込なり

▲雜沓の光景　西小門通りは比較的大通りなる上要所／＼に非常線を張り一切通行を禁止したれば消防の活動は便利なりしも附近の清國人より手當り次第に投出したる家財は道路に積んで山をなし彼等が泣喚きつゝ右往左往する樣、頗る雜沓を極め光景轉た慘憺たり

▲本社の警戒　本社は既に仕事を終り社員は何れも歸宅して徐ろに明日の働き振を夢みつゝあり社長又所用ありて他出中なりしが警鐘を聞き付けて悉く參集し最も早き者は發火後五分間にして駈付けたるものもあり、何れも身仕度し前面の樓上樓下に消火器を備へ飛び來る火の子を防ぎ、社長室なる重用書類其他貴重品は悉く荷始末して何時にても持運ぶべき用意整ひ居りしが幸に風强からず且消防隊の働き機敏なりし爲め類燒を免れたり終りて當夜逸早く駈付けて警戒を恭ふしたる同情者諸君に多謝す

●中檢番の醜聞

▲帳場と某樓主の結託

當地料亭にて一等株なる花月、掬翠、井門淸華等の各樓が嚢きに其筋の命令にて中檢番とか云ふ名目の下にエンヤラサット藝妓連の集合所を設置したと云ふ事は何時ぞや一寸耳にしたるが無粹の記者は未だ中檢番が何處に設けられあるかを知らざる矢先き何ふした事かハヤ同檢番内の惡聞を耳にしたるぞ憂たてけれ今其聞きたるまゝを記さんに同檢番の取締は當地の尤も古顔で此道に經驗ある井門の榮太爺さんにて普通なら隱居役にて最早何事も子や孫に一任すべき處なるが頑固一天張の爺さんとてなか／＼弁應な氣樂な事はテント性に合はず御苦勞にも朝な夕な本店や支店の監督から組合の檢番迄取締ると云ふ豪氣な武者振りに誰れしも口あんぐりたらざるを得ない有樣なるが何を云ふても天保時代の舊智識二十世紀の今日にはチト間に合はぬのみか我慢が過ぎての監督は兎角不行屆なるは免れざるがこれを幸ひとして中檢の帳場とかを勤むる津田某は這に奸智を廻らして同組合の一人たる某高樓の主人と結託の上我儘勝手の手段を以て我利我慾を貪り兎角不公平の仕打をなすこそ憎々しけれ元來帳場津田某と云ふは初め本町九丁目邊に小さき雜貨商を營み居たるが其頃より酒と八八とが大の好物とて近隣の評判も好からざりしに其上誰云ふとなく犬よ／＼と悼名して誰一人取合ふ者もなければ如何に鐵面皮の彼れも詮方なく終に安東縣に高飛せり、されど何處に行くも這麼奴は相手にするものとてもあらねば已むなく浮浪の身となりて這に再び當地の或親族を便りて歸京せるが折柄當地には中檢開設せんとの協議中なるに早くも夫れと見込んだ津田は早速某高樓に至り樓主某に泣くが如く訴へて中檢帳場周旋方を依賴して言へる樣若し自分にして採用相叶はば屹度貴樓の爲に良き手段を弄すべし杯と蜜の如き甘き言葉もて說きたれば樓主は大に喜び然らば一肌脫いで盡力するのみか手段に依而得たる花代は一人につき五分宛を是非貴殿に呈すべしとの條約を締結したか什ふか其所迄は知らねど兎に角此間に何等かの秘約ありしは言ふ迄もなしとのこと斯る事とは露程も知らぬ各組合樓主は早速某樓の周旋にて前記津田某をば中檢帳場として備入れ榮太爺さん取締として夜毎／＼に出張すれど天保年間の營業振りの取締に此方の津田は二十世紀の裡にも取分け奸智に長けた奴とて這麼梅乾爺の目を暗ます事は朝飯前の茶漬なれば玆に津田は開業當月より某樓主との秘約に依つて兎角不公平の手段のみを弄し例へば或花客より名差しにて何樓の藝妓をと呼べば現に其妓の居るにも係はらず帳場は其妓は只今居りませぬ故他の妓をと早速某樓の妓を开所に差向くるが如き殊に宴會などにては尤も此手段を廻らせりと爲めに掬翠の女將の如きは不公平なりとて現に取締に向つて談判を申込みたりし恐もありとか夫れに引換へ此方の某樓主中檢帳場大明神と尊め奉りて毎夜／＼仲居をして酒肴を運ばしめ津田大明神に供へ奉り居る由されば某樓の藝妓二十幾名を除すの外は一同口を揃へて取締の不行屆を憤り居れる然るに各樓主が何故に之を等閑に附して某樓主及び津田某の爲すか儘に任かし居るか不審に堪へずとの噂さもあるが事の眞僞は知らざれど果して事實なりとせば飼犬に手を噛まるゝ各樓主こそ良い面の皮と云ふべし這麼な樓主計りなれば檢番の開業祝も文之助一人の爲めにオヂャンにする無理こそなけれ尙は津田某の惡手段は聞き得て報導するところあるべし

●强盜團の檢擧

▲警視廳刑事の手にて

本年一月以來城內及び東大門外方面に涉り銃器及び短刀を携帶して民財を强奪しつゝある强盜團の出沒せるより警視廳訊問課に於ては如何にもして之れを逮捕せんと種々苦心捜査の結果去る二十四日遂ひに共犯者五名を捕縛したるが目下豫審中なるを以て詳報する能はざるも被害中には光熙門外靑蓮寺に押入り主僧及び其他に銃劍を負はせたるを始め十數箇所に涉り居れるが贓品等の如きは其大部分を發見し目下訊問係の一室に保管し居れるが實に積んで山を爲し居れりと尙同犯の檢擧に就ては同課永山刑事及韓人巡査與つて力ありといふ又平南生れ當時西部蛤洞居金濃洙(二十)全北生れ當時居所不定南宮徹(三十)平北生れ當時同上李致元(三十)平安生れ當時蛤洞居金濃仁(三十)西部靑坡卓順興(四十)等は四月下旬以來東大門外麻浦、龍山に涉りて十箇所に於て持兇器强盜を働き巧みに法網を逃れ居たるが警視廳訊問課の加納刑事が苦心の結果漸やくこれを逮捕し目下取調中の由なるが是等檢擧以來殆んど强盜被害の聲を絕ちたりといふ

●喰逃客は猫島で居殘

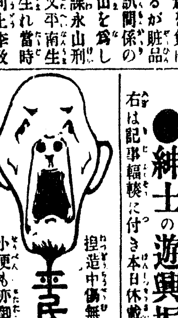
▲京城日報記者と僞稱す

仁川濱町白石旅館に先月五日投宿したる一人の男あり京城日報記者大坂東區難波新川長野一郎(二十)と稱し時々尋ね來れる友人と大平樂を並べ居たるが其友人の知人に倉本と云ふがあり目下職業もなく困り居ると聞くや自分は今度徵兵檢査にて歸國するに付自分の後任者とし倉本を世話すべし等威張り散らし居たるが同人は突然去る二十四日宿料四十餘圓をば一文も仕拂はず外出した儘歸り來らざるにぞ白石にては狼狽てゝ右の旨其筋に屆け出でたるより彼れの行衞搜査中の處同人は其夜白石旅館を出掛けたる儘猫島に至り松島樓に登樓して二十餘圓を費消し其支拂ひが出來ず三十一日迄居殘りして居たるを其筋にて探知し早速引致の上取調べたる處原籍氏名共僞りにて姬路西呉服町藤谷英三(三十)と云ふ者にて遊蕩の結果家にも居られず渡韓し右の始末と判明したるが實家は多少の財產も有る樣子なれば歸國の上右は何れも支拂ふ樣說諭の上放免したりと

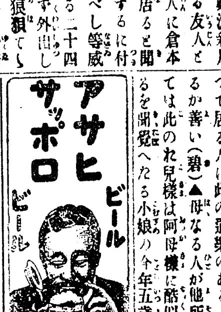
●船夫水中に墜落　京畿道楊平郡西宗面居住船夫張京潤(三)は去二十六日午前七時過ぎ北漢江高安の急流を河船に薪を積載して流下せんとしたる際突然他の船と衝突したる爲め水中に墜落したるを高安憲兵分遣所員現場に急行し村民を指揮し之れを救上げて人工呼吸法により蘇生せしめたり

●新町だより　一昨外新町遊廓へ繰込みたる嫖客の數は百十四名にて此費消高六百六十七圓三錢此內尤も多きは井門支店の十五人と百圓四十八錢にして同樓が平素常に四五番にありしに不拘一躍して第一位となりしは全く値下を斷行したる結果に外ならず高く貫つて少なく揚げるより安くして多く揚げる方が商賣に悧怜なる者と云ふべし▲去る一日は定期檢梅なりしが皆春樓の式部は全治退院し引續き病院に取殘されたるは第一樓の園枝、淸月の若松南山樓の小福、南糸山遊樓の千代松等にして新入院者は一人もなかりしと

●紳士の遊興振　右は記事輻輳に付き本日休載す



▲人の道樂には種々あるが他人の物を見ると何んでも欲しがる杯は尤も惡いが之れに續いての惡道樂と云つたら何事でも引き受ける道樂である賴みもせぬ事まで好んで引き受ける然うして埒を開けぬ賴んだ方では首を長くして居るのに引き受けた方は催促される迄忘れて居るのみならずイヤ二三日すれは乾度纏まるなど口から出任せの氣休め文句を列べる格別惡意のある譯けでもなからうが結果は惡意と解釋せらるゝ僕の知つて居る人に此の道樂のある人がある悛めるが善い(碧)▲母なる人が他所の小供を見ては此のれ兒樣は阿母樣に酷似りだと云へるを悶覺へたる小娘の今年五歲になれるがあり、隣りの妻女の狆を抱けるを見て「マア此チンは伯母さんに酷似りだこと」生憎其妻女の鼻は珍らしきほど仰向き居たるなりけり(寶地目て來た生)▲僕の嫌なのは雅號といふものだ一体名前といふものは親が付けて吳れるのに極つたものだ夫れを勝手に自分で付けて下手な願人坊主か宿場女郎の樣な名に取り換へるとは誠に不埒な奴等である(無名子)▲挾されるよ(小僧)▲金儲けの法一つ、海岸に落ちてゐる貝殼を拾て之れに一々原名を記し夫を厚紙か經木にリボンをあしらつた綺麗な箱に入れて米國邊りのデパーメントストアーに標本の見本として送つて見玉へ必ず注文の來ることは請合である(今紀文)▲送くつて見給へおちやない送つたら何うか金儲の秘傳をべラ／＼喋べるものではありません(小僧)▲汝は世を悲觀して徒らに煩悶すれど天は決して薄志弱行の徒にのみ獨り慈悲を垂るゝ如き偏頗なる所置を採らず(エンゼル)▲昨夜近火の節は早速御見舞下さつて有難う御座ます本欄にて取り敢へず御禮申上ます(社內高木)▲市内の要所／＼に非常報知機及び出火場所の告知板とを設備せられむことを當局者に希望する萬止むを得ざれば下に述ぶる如き手輕な方法がある、即ち要所々々の電話を有する家へ囑托して出火を報知すると其の家で書いて外へ張出して吳れる……と云ふのも一方法である、今のまゝでは方角を取り違へて見舞ふべき家へ歸るべき家の燒けたも知らずに居ることもあらうではないか度々申して恐れ入るが今度は一つ奧面目に考へて下さい(紅)▲賛成する(小僧)



マルソイド　斬新屋根材料　藤原支店　京城永樂町　電話八九番

●天氣豫報(自二日午後六時至三日午後六時)

南西の風晴

一日　最高溫度(華氏)八九、一　最低溫度　五九、四

廣告

昨夜近火の際は早速御駈付被下御警戒に預り幸にして類燒を免れたる段難有御禮申上候一々拜趨御禮申述べくの處混雜中尊名伺洩れも有之候儘玆に以紙上御挨拶申上候
追て幸ひに工場等に何等異狀無之新紙刊行に毫も差支へ無之候條貴安神被下度候
六月二日　西小門通　京城新報社

謝近火御見舞
昨夜近火の節は早速御見舞を辱ふし難有奉謝候混雜中尊名伺漏れも可有之不取敢以紙上御禮申上候
六月二日　西小門通　シンガー裁縫機械會社

謝近火御見舞
昨夜近火の節は早速御見舞を辱ふし難有奉深謝候混雜中尊名伺洩も難計不取敢以紙上御禮申上候
六月二日　西小門通り　菅醫院(電話九六〇番)

謝近火御見舞
昨夜近火の節は早速御見舞を辱ふし難有奉感謝候混雜中尊名伺漏も難計不取敢以紙上御禮申上候
六月二日　京城長谷川町　江川活版所

謝近火御見舞
昨夜近火の節は早速御見舞を辱ふし難有奉深謝候混雜中尊名伺洩も難計不取敢以紙上御禮申上候
六月二日　大漢門前　遠藤洋服店(電話三二三番)

謝近火御見舞
昨夜近火の節は早速御見舞被下難有御禮申上候
六月二日　西小門通り　古川床

警視廳許可濟飲料氷御小賣
◉代價百匁に付壹錢貳厘◉京城市内は無貨にて迅速に配達仕候
京城永樂町二丁目(赤門横)電話九八五　吉田氷販賣部

謝近火御見舞
昨夜近火の節は早速御見舞を辱ふし難有奉謝候混雜中尊名伺洩も難計不取敢以紙上御禮申上候
六月二日　太平町一丁目　太平湯

謝近火御見舞
昨夜近火の節は早速御見舞を辱ふし難有奉深謝候混雜中尊名伺洩も難計不取敢以紙上御禮申上候
六月二日　西小門通り　横濱亭

謝近火御見舞
昨夜近火の節は早速御見舞を辱ふし難有奉謝候混雜中尊名伺洩も計りがたく不取敢以紙上御禮申上候
六月二日　太平町一丁目　初音亭

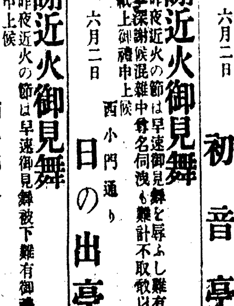
謝近火御見舞
昨夜近火の節は早速御見舞を辱ふし難有奉深謝候混雜中尊名伺洩も難計不取敢以紙上御禮申上候
六月二日　西小門通り　日の出亭

謝近火御見舞
昨夜近火の節は早速御見舞被下難有御禮申上候
六月二日　西小門通り　東京樓

謝近火御見舞
昨夜近火の節は早速御見舞被下難有御禮申上候
六月二日　西小門通り　富士館

◎鸚島園藝模範場廳舍官舍模樣替改修工事右六月九日入札ニ付ス詳細ハ三日以後ノ官報又ハ當所ノ揭示ヲ見ヨ
建築所

眼科專門
京城本町一丁目參十四番戶　元蘇非跡　(電話三十三番)
醫學得業士　前漢城病院眼科部長　江頭富雄
江頭眼科醫院

自轉車大安賣

角商會代理　前川自轉車店　京城南大門横

夏物大賣出し
五月廿八日より六月廿日迄大割引販賣仕候間續々御購求あらん事を
衣服類、洋物雜貨、文具、履物類其他何でもあります
龍山元町三丁目銀行西隣　分　寺岡商店

◉眼病藥の大王は永樂町二丁目丸一藥房發賣の富川氏製劑の眞珠白龍丹に限る七十二種の眼病全愈せさる者なし試用の分に限り定價の半額に割引仕候

各種洗濯石鹸 專門製造販賣

用途 陸軍、鐵道、瓦斯、鐵工、鑛山、水道、諸工業用

京城旭町二丁目 (電話九七三番)

朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

●求職 普通教育有り職業を撰ばず至急雇れたし 氏名在社(二六九)

●募集 裁縫見習生十四歳より十八歳迄一名入用希望者は來談あれ 大和町二の一六八 技藝女塾

●給仕入用 年齡十四五歳の者 本町一丁目 小川勝平事務所(二六八)

●被雇度 年廿五体强中等教育有簿記精通給料多額不望會社商店銀行等被雇たし確實保證人有 氏名在社(二七五)

●被雇度 年二十八身体强健多年建築請負業從事請負業主に雇はれたし給料不論確實保證人あり 氏名在社(二七三)

●被雇度 土木建築及官衙用達業に多少經驗を有する身元確實なる者同業者に被雇たし高給不望 氏名在社(二七六)

●被雇度 年廿五普通教育有る婦女會社病院商店の事務員又奥樣ある家庭の上女中に雇れたし保證人あり 氏名在社(二七八)

●開校 私立裁縫徒弟學校開始す希望者は至急申込あれ規則書入用の向は郵券二錢送付す 龍山本町三の六六 吉村又平治

●告 鐵城生 紙上へは匿名にても差支なけれども依頼状までか匿名にては他より問合來りし際答ふるに由なき次第に付眞實の氏名御通知まで掲載見合す(係)

●注意 紹介依頼者にして電話を有せざる御方は依頼の際郵券封入有りたし左なくば諸般の通知をなすに由なし(係)

物件部

●氷店賣却 氷店道具一切附屬品共賣却したし御望の方は電話千百八十三番へ

●求借家 韓人家屋にて人通り繁き横丁にて温突五六間の二階建及平家にても至急借受たし場所太平町北米倉町附近を望む 社内柏木(二七二)

●求地所 大和町附近高燥にして眺望好き二三百坪の地所を格安にて譲受けたし 氏名在社(二七〇)

●賣家 龍山元町電車通(チンカン局隣)地坪七十坪韓家屋十八坪地所共格安賣たし 氏名在社(二七九)

廣告

東洋總代理店

實用 石鹸 アイボリー

林原京城支店 電話 壹壹 八〇壹 九四番

急告

今般當院に慈惠部を設け資力少なき患者十名を限り入院治療の需に應ず

但し入院料一日八十錢を越へず

龍山老松町(電話二一八番)

上田病院慈惠部

三一館

焦心單志多年爲斯道鞠於微義奧旨恍然似有得者匪鑿推臆斷昀昀汜洋鮮愈酒酷素面輕蔑也

易斷 觀相 教授 判斷 通信

京城本町五丁目 三一館

一件一圓特別二圓

特定御用 消毒 牛乳 花井牧場 電話一〇五六番

營業科目

諸官衙御用品調達

和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類

各學校御用品調達

委托販賣

東京ランバーグ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
釜山臺鹽合資會社食鹽特約店

藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目 電話二三〇番

出張所 東京京橋區南鍋町一丁目十番地 電話新橋三九六二

新着廣告

歐州各國帝室御用品

品質優等、意匠艶麗、

G.D.印トルコ金口煙草(百本入 十本入)

外各種 百本入、二十本入、十本入とも右今般多數入荷致候に付精々廉價發賣致候間多少に不拘御用命願上候

追て見本品並に價格表は御申越次第御送附可申上候

直輸入元 仁川本町一丁目 トルコ煙草商會 電話(七一五番)

龍山 萬長旅館

東山の手柳町 電話四〇〇番

弊樓儀開業以來四方御客樣方の御引立に預りまして家運益隆盛に趣き茲に五週年を迎ゆることとなりました、就ては聊か自祝の印として六月一日より玉代、糸代、料理代等一切大に値下げの上精々勉強致すことと定めました、願くは舊に倍して御來車の程希上ます

新町遊廓 井門支店 (電話三五九番)

土管瓦煉瓦

土管 陶榮商店の販賣する土管は模範的工場に於て最新米國式機械を以てし知名技師の注意周到なる監督の許に精製せられたる最良品なり

瓦 陶榮商店の販賣する瓦は同工場最新米國式機械製品にして酷寒耐久には重き注意を加へられたる最良品なり

煉瓦 陶榮商店の販賣する煉瓦は同工場最新米國式機械精製品にして他に卓越せるは當販賣元の最も誇とする良品なり

右特約一手販賣仕候間多少に不拘御用命奉願候

陶磁器卸小賣 官製煙草元賣捌 土管瓦煉瓦販賣元

京城本町二丁目 (肥)陶榮商店 (電話百十三番)

六月五日ヨリ

夏物大賣出

東京浴衣地類は本年特に澤山荷着致居候間何卒不拘多少御買上の程只管奉願上候

京城本町二丁目 三越吳服店 電話參五貳

入院隨意

漢城病院

諸般之設備を改善して一般診療に從事す

院長 內科部長 安藤一郎
外科部長 醫學士 鶴田善重
產科婦人科部長 醫學士 山添喜代藏
耳鼻咽喉科部長 石田誠

診療時間 每日自午前八時至午后二時

但 每日曜大祭日休業

眼科、花柳病科專門醫は不日着任仕候

入院隨意

蜂印香竄葡萄酒

本品は其質醇良にて營養分に富み日常の飲料として身體を强壯にし元氣を增し頗る衛生に補益有

京城代辨店 本町四 山口吳服店 電話九

金水舍製 ラムネ、ミカン水

衛生一無害 昨年の通り純良なるラムネ、ミカン水製造販賣仕候間陸續御愛飲を乞ふ

京城大和町二丁目 漢城製藥所長藥劑師 渡邊悅之輔

明治廿年七月創立● 資本金一千萬圓●

東京火災運送海上保險株式會社

京城代辨店 本町四 山口吳服店 電話九

事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

▲清潔の下宿▼

客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候

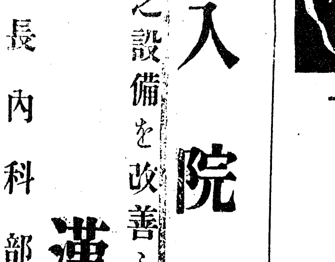
▲懇切の下宿▼

壽町二丁目十番戸横小路(元花屋跡) かめ屋

馬車配達

●●●滋養と牛乳●●● 純良 牛乳 ●●●衛生と消毒●●●

京城東四軒町 岡野牧場 電話壹〇六九番



工場新築落成に付當分の間三割引

統監府御用 諸官衙人力車 荷物荷造及運搬

伊藤組

本店 京城本町三丁目(電話四〇番)
出張所 同南大門驛構內(電話七三二番)

日本郵船株式會社 仁川出帆廣告

貨物及船客取扱店 仁川海岸通 郡回漕店 電話九三番

●釜山長崎門司神戶行 山東丸 六月 六日午後三時出
●大連、太沽、牛莊行 高砂丸 六月 日正午時前
●大連、太沽、牛莊行 山東丸 六月二十二日前五時出
●大連、太沽、牛莊行 酒田丸 六月 十七日正午出
●釜山出帆、元山、浦潮行 立神丸 六月 十六日午後

御注意 御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 一枚金二錢 一ヶ月前金四十五錢 三ヶ月前金壹圓 六ヶ月前金貳圓 一ヶ年前金 郵税一ヶ月 拾錢
●廣告料 五號活字十九字詰一行一回四十錢 五號活字十九字詰一行 十錢
發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 高木久馬太郎
發行所 京城西署 京城新報社 電話六六三番